令和７年度

危険物取扱者試験案内

（埼玉試験）

試験案内に記載されている内容を、最後までよく確認いただいた上でお申し込みください。
お申し込みいただいた方は、記載された全ての事項に同意されたものとみなさせていただきます。
※試験日程や会場が変更になる場合があります。当支部ホームページから定期的にご確認ください。
※会場の関係等から申請期間中でも受付を終了させていただく場合があります。

一般財団法人消防試験研究センター　埼玉県支部
〒330-0062　さいたま市浦和区仲町２−１３−８　ほまれ会館２階
TEL：０４８-８３２-０７４７　FAX：０４８-８２５-０７４８
https://www.shoubo-shiken.or.jp/branch/11saitama/

■電子申請に関するお問い合わせ先■

(一財)消防試験研究センター　電子申請室　**専用電話（全国共通）　0570−07−1000（有料）**
受付時間　９時００分 ～17 時００分（土日祝日、年末年始を除く。）

受験手続から合格後の免状交付申請手続までの流れ

＼ パソコン・スマートフォンから簡単申請！ ／

電　子　申　請（P.5）

（一財）消防試験研究センター
ホームページから申請（P.5）
【https://www.shoubo-shiken.or.jp/】

↓

試験手数料の払込み
（P.5）

↓

受付完了メール受信
（試験手数料の入金確認後に当センターから送信）

↓

受験票ダウンロード可能メール受信
（試験日の概ね１週間前までに当センターから送信）

↓

受験票のダウンロード・印刷
（P.10～）
（受験者が印刷　当センターからは郵送しません）

書　面　申　請（P.6）

受験願書・払込取扱票の入手
（P.6）

↓

試験手数料の払込み
（P.6～）

↓

受験願書作成・提出（P.7～）
（埼玉県支部へ郵送又は持参して提出）

↓

受験票の受け取り（P.10～）
（試験日の１週間前までに当センターから発送）

↓

受験票へ写真をのり付け・氏名記入
（P.10～）

↓

試　験　当　日（P.12）
※ 写真を貼った受験票がないと受験できません

↓

試験結果通知書受け取り（P.12）
（当センターから郵送）

↓

合格者は免状交付申請（P.13～）
（埼玉県支部へ郵送又は持参して申請）

↓

免状の交付
（郵送又は埼玉県支部の窓口で交付）

消防法（昭和 23 年法律第 186 号）第 13 条の５第１項の規定により埼玉県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

１　試験の種類と取り扱うことができる危険物

危険物取扱者免状には甲種、乙種及び丙種の3種類があります。甲種・乙種は取扱作業及びその立会い、丙種は乙種第４類危険物のうち指定された危険物に限り取扱作業をすることができます。

試験の種類		取り扱うことができる危険物	
甲　種		すべての種類の危険物	
乙種	第1類	酸化性固体	塩素酸塩類、過塩素酸塩類、無機過酸化物、亜塩素酸塩類等
	第2類	可燃性固体	硫化リン、赤りん、硫黄、鉄粉、金属粉、マグネシウム等
	第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	カリウム、アルキルアルミニウム、黄りん等
	第4類	引火性液体	ガソリン、アルコール類、灯油、軽油、重油、動植物油類等
	第5類	自己反応性物質	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物等
	第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸等
丙　種		引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油等

２　試験日・会場

試験日、願書受付期間、実施する試験種類、試験会場、試験時間（集合時間及び試験時間）は消防試験研究センター 埼玉県支部のホームページまたは別紙「試験日程」で確認してください。

３　試験の種類および試験時間

時間帯	試験の種類	集合時間	試験時間
1	甲　種	9：30	10：00 ～ 12：30
	乙種 第４類（午前の部）		10：00 ～ 12：00
2	乙種 第４類（午後の部）	13：30	14：00 ～ 16：00
	乙種 第１・２・３・５・６類		
	丙　種		14：00 ～ 15：15

試験開始時間は、受験票に記載されます。乙種第４類は１（午前の部）と２（午後の部）に分けて実施します。試験時間帯の希望・変更はできません。

４　受験資格

⑴　甲　種

受験資格が必要です。詳しくは、「甲種危険物取扱者試験の受験資格」（P.3　7⑵）をご確認ください。

⑵　　乙種及び丙種（P.4　8、9）

受験資格は必要ありません。どなたでも受験できます。

５　受験申請の方法

受験申請の方法は、電子申請（インターネットによる申請）と書面申請（願書による申請）の２通りです。
具体的な方法は、「11　電子申請の方法」（P.5）又は「12　書面申請の方法」（P.6～）をご確認ください。

６　試験手数料

試験手数料（消費税非課税）は下表のとおりです。払込み方法は電子申請と書面申請で異なります。
詳しくは「11　電子申請の方法」（P.5）又は「12　書面申請の方法」（P.6～）をご確認ください。

甲種	乙種	丙種
7，200円	5，300円	4，200円

一旦払込みされた試験手数料はお返しできません。

7　甲種危険物取扱者試験

⑴　試験科目、問題数及び試験時間（甲種試験には試験科目の免除はありません。）

試　験　科　目　（　）内は略称	問題数	合　計	試験時間
①　危険物に関する法令（法令）	15問	45問	2時間30分
②　物理学及び化学（物化）	10問		
③　危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		

⑵　受験資格及び証明書類

受験資格を証明するための書類は、下表の「証明書類」欄を参照し提出してください。（全てコピー可）

また、過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことがある方は、その時の**「受験票」**もしくは**「受験票（控）」**又は**「試験結果通知書」（資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。コピー可）**を提出することにより、受験資格の証明書に代えることができます。

甲種危険物取扱者試験の受験資格　　**※全てコピー可**

	対　象　者	大学等及び資格詳細	願書資格欄の記入略称	証明書類
［1］	大学等において化学に関する学科等を卒業した方（専門職大学の前期課程を修了した方） （P.15の別表1参照）	①　大学、短期大学、高等専門学校 ②　大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ③　高等学校・中等教育学校の専攻科 （［1］、③で示す専攻科は、上記学校を卒業後に当該学校等で履修する修業年限2年以上のものをいう。） ④　防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 ⑤　専門職大学の前期課程を修了 ⑥　専修学校（備考②参照）	大学等卒	卒業証明書又は卒業証書・学位記（学科等の名称が明記されているもの）
［2］	大学等において化学に関する授業科目を15単位以上修得した方 （P.15～P.17の別表2参照）	①　大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、大学院、専門職大学院 ②　高等専門学校の専門科目 ③　大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 ④　防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 ⑤　専修学校（備考②参照）	15単位	単位修得証明書（P.17の書式例2参照）又は成績証明書（修得単位が明記されたもの）
［3］	乙種危険物取扱者免状を取得している方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方	実務2年	乙種危険物取扱者免状及び実務経験証明書
		次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状を取得している方 ①　第3類（必須） ②　第5類（必須） ③　第1類又は第6類のどちらか1つ ④　第2類又は第4類のどちらか1つ	4種類	乙種危険物取扱者免状
［4］	修士・博士の学位を取得している方 （P.15の別表1参照）	修士・博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻した方（外国の同学位も含む。）	学　位	学位授与証明書等又は学位記（専攻等の名称が明記されているもの）

備考　①　受験願書A面の「甲種受験資格」欄に上表の「願書資格欄記入略称」を記入してください。

②　上記［1］と［2］の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか、次のいずれかの書面が必要です。ただし、証明書類に次の内容が記載されている場合は不要です。

・専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し

・専門課程の修業年限が2年以上、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1,700時間以上であることを証明する書面（P.16の書式例1参照）

③　［2］の大学、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、大学院、専門職大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわりなく合算して算定することができます。また、放送大学も同様に算定できます（P.16の書式例2参照）。

④　［3］の「実務経験証明書」は、事業主等の証明です。受験願書B面（裏）の様式を使用してください。

⑤　旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格がある場合があります。詳細はお問い合わせください。

⑥　過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票若しくは受験票（控）又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます（コピー可）。

8　乙種危険物取扱者試験

⑴　試験科目、問題数及び試験時間

試　験　科　目　（　）内は略称	問題数	合　計	試験時間
①　危険物に関する法令（法令）	15問	35問	2時間
②　基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
③　危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

⑵　試験科目の免除

既に乙種危険物取扱者免状を1種類でも取得している方は、試験科目の「法令」・「物化」の全部が免除になります。

また、第1類又は第5類の受験者で**火薬類免状を取得している方は申請により**、「物化」及び「性消」の一部が免除になります。免除資格がある方は、受験願書の科目免除欄に記入し、**免状のコピー**を提出してください　（一部免除については、免除を受けた問題は点数加算されません。）

免　除　資　格　者	免除類別	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を取得している方	第１類〜第６類	法令	全部免除	0問	10問	35分
		物化	全部免除	0問		
		性消		10問		
火薬類免状を取得しており、科目の一部免除を申請する方	第１類 第５類	法令		15問	24問	1時間30分
		物化	一部免除	4問		
		性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状及び火薬類免状を取得しており、科目の免除を申請する方	第１類 第５類	法令	全部免除	0問	5問	35分
		物化	全部免除	0問		
		性消	一部免除	5問		

備考　①　火薬類免状とは、次の免状を意味します。

◇　甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状（火薬類取締法）

◇　甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状（火薬類取締法）

②　**乙種危険物取扱者免状を取得している方**（危険物取扱者免状・火薬類免状の両方を取得している方を含む。）が**複数受験する場合の試験時間は〈2 種類：1 時間 10 分〉〈3種類：1 時間 45 分〉**です。

9　丙種危険物取扱者試験

⑴　試験科目、問題数及び試験時間

試　験　科　目　（　）内は略称	問題数	合　計	試験時間
①　危険物に関する法令（法令）	10問	25問	1時間15分
②　燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
③　危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		

⑵　試験科目の免除

下表の免除資格者に該当する方は、試験科目の「燃消」の全部が免除になります。

免除を希望される方は、次の証明書類をすべて提出してください。

① 消防団員歴を証明する書類（消防団長等が証明するもの。コピー可）

② 消防学校の教育修了証の写し（消防学校長が証明するもの）

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
５年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	法令		10問	20問	1時間00分
	燃消	全部免除	0問		
	性消		10問		

１０　複数受験と併願受験

⑴ **複数受験（同一試験時間帯の場合）　※乙種第1・2・3・5・6類の試験のみ複数受験が可能**

既に他の乙種危険物取扱者免状を１種類でも取得している方（危険物取扱者免状と火薬類免状の両方を取得している方を含む。）は、**2又は3種類まで**の試験を同時に受験することができます。

⑵ **併願受験（異なる試験時間帯の場合）**

試験時間帯（P.2　3）１および２で１種類ずつ受験することができます。

⑶ 手数料の支払いと受験願書の作成

書面申請：受験する試験の種類ごとに試験手数料をお支払いいただき、**それぞれ受験願書を作成**し、**同一封筒で申請**してください。

電子申請：**電子申請でも複数受験・併願受験を申請できます。**

１１　電子申請の方法

⑴ 申請方法

（一財）消防試験研究センターホームページから申請してください。

受付時間は、受付開始日の９時00分から締切日の２３時５９分までとなります。

（24時間対応。ただし、毎週土曜日午前３時～午前５時はシステムメンテナンスのため申請不可。）

証明書類が必要な試験を申し込むと、証明書類のデータファイルをアップロードするためのURLが記載されたメールが届きます。案内に沿ってアップロードしてください。

Point!

＜電子申請のここがおすすめ！＞

パソコンやスマートフォンから、24時間 簡単に申請できるほか・・

- 受験資格を証明する書類が必要な場合（実務経験、卒業証明書など）
- 科目免除を希望し、資格証明の書類が必要な場合（火薬類免状保有者など）
- 同一試験日に複数の受験を申請する場合　も申請できます。

⑵ 試験手数料の払込み方法（電子申請の場合）

払込み方法は、次の４種類から選択できます。

手数料は申請者の負担となります。**一旦払込みされた手数料はお返しできません。**

決　済　方　法	決　　済　　内　　容	手数料	領収書
ペイジー（Pay-easy）	情報リンク方式　オンライン方式	230円（税込） が別途発生	電子申請システムにより発行可 （試験日翌日～ 試験日の翌年度末まで）
コンビニエンスストア決済	セブンイレブン　ファミリーマート ローソン　ミニストップ　セイコーマート デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。）		
クレジットカード決済	VISA　マスターカード　JCB アメリカンエキスプレス　ダイナース		
スマホ決済	PayPay　メルペイ		

※　主な留意事項　※

以下の内容を必ず確認してください。

① **パソコンやスマートフォンを使ってインターネットに接続でき、当センターのホームページから受験票（PDF）をダウンロードして自宅やコンビニ等のプリンター、複合機で印刷できること**

② 資格の証明書類等を添付する必要がある申請の場合は、**審査結果等を通知する当センターからのメールを必ず受信できるようにしておくこと**

（証明書類に不備があった場合は差し戻ししますので、必ずメールを確認してください。）

③ 資格の証明書類等はPDF又はJPEG形式のファイルを準備すること

④ 既に危険物取扱者免状を取得している場合は、免状の記載事項に変更がないこと

（電子申請には、免状番号（免状の写真下に記載されている12桁の番号）の入力が必要です。
免状番号のない古い免状をお持ちの方は電子申請できませんので、書面で申請してください。）

⑤ 複数受験を希望する場合は、願書情報入力画面で必ず複数受験の追加申請を選ぶこと

詳しくは、（一財）消防試験研究センターホームページ「電子申請に関するQ&A」をご確認ください。

12　書面申請の方法

⑴ 受験願書及び払込取扱票の入手方法

入手方法は下表のとおりです。試験案内一式に**受験願書**及び**払込取扱票**（郵便局・ゆうちょ銀行用）は各１部同封されており、**全国共通**ですので、**他道府県試験案内に同封されている受験願書及び払込取扱票でも受験申請できます。**

入手方法	備考
直接取りに行く	埼玉県支部、埼玉県内の消防本部・地域振興センターで配布しています。
郵送で取り寄せる **※　郵送にかかる費用はすべて請求者の負担になります。**	次の①及び②を同封し埼玉県支部に郵送してください。**なお、お手元に試験案内一式が届くまで、請求された日から１週間程度かかります。** ①「請求者氏名、電話番号、危険物取扱者試験案内○部希望」を明記したメモ ② 試験案内の受取先を宛先として記載した返信用封筒（角２封筒に切手を貼付したもの） ※返信用切手は試験案内１部で180円、２部で320円です。 【郵送先】 〒336-0062　さいたま市浦和区仲町2-13-8　ほまれ会館2階 （一財）消防試験研究センター　埼玉県支部　宛

なお、試験案内は受験される都道府県により異なりますのでよく確認してください。

⑵ 申請に必要な書類

提出する書類は下表のとおりです。

提出書類		留意点
①　受験願書		受験する種類（1種類につき1部）ごとに作成してください。また、同日に複数・併願受験を申請する場合は一緒に提出してください。(P.8～の記載例参照)
②　振替払込受付証明書(お客さま用) ※ 郵便局窓口で押印される日附印があるもの		当センター指定の「振替払込受付証明書（お客さま用）※赤枠部分」を受験願書Ｂ面（表）の指定の欄にのり付けしてください。(P7～参照)
③　危険物取扱者免状のコピー	該当者のみ	既に危険物取扱者免状を１種類でも取得している方は、必ず受験願書Ｂ面（裏）の指定の欄にのり付けしてください。(P.9参照)
④　甲種受験資格を証明する書類		甲種を受験される方は、受験資格を証明する書類の提出が必要です。(P.3　7⑵参照)
⑤　火薬類免状のコピー		火薬類の免状を取得している方で、乙種第１類又は第５類の試験科目の一部免除を受ける方は、証明する免状のコピーの提出が必要です。(P.4　8⑵参照)
⑥　消防団員歴を証明する書類（コピー可）及び消防学校の教育修了証の写し		丙種の試験科目免除を受ける方は、資格を証明する書類の提出が必要です。(P.4　9⑵参照)

⑶ 試験手数料の払込方法（**書面申請**の場合）

払込み方法は、次の５種類から選択できます。

手数料は申請者の負担となります。**一旦払込みされた手数料はお返しできません。**

	決済方法	決済内容	手数料	領収書
ア	払込取扱票	郵便局・ゆうちょ銀行（窓口）	日本郵政㈱の定める手数料	払替払込請求書兼受領証
イ	ペイジー（Pay-easy）	情報リンク方式　オンライン方式	230円（税込）が別途発生	電子申請システムにより発行可 （試験日翌日～試験日の翌年度末まで）
	コンビニエンスストア決済	セブンイレブン　ファミリーマート ローソン　ミニストップ　セイコーマート デイリーヤマザキ（一部店舗を除く。）		
	クレジットカード決済	VISA　マスターカード　JCB アメリカンエキスプレス　ダイナース		
	スマホ決済	PayPay　メルペイ		

⑷ 支払い方法

次のア、イいずれかの支払い方法をご選択ください。

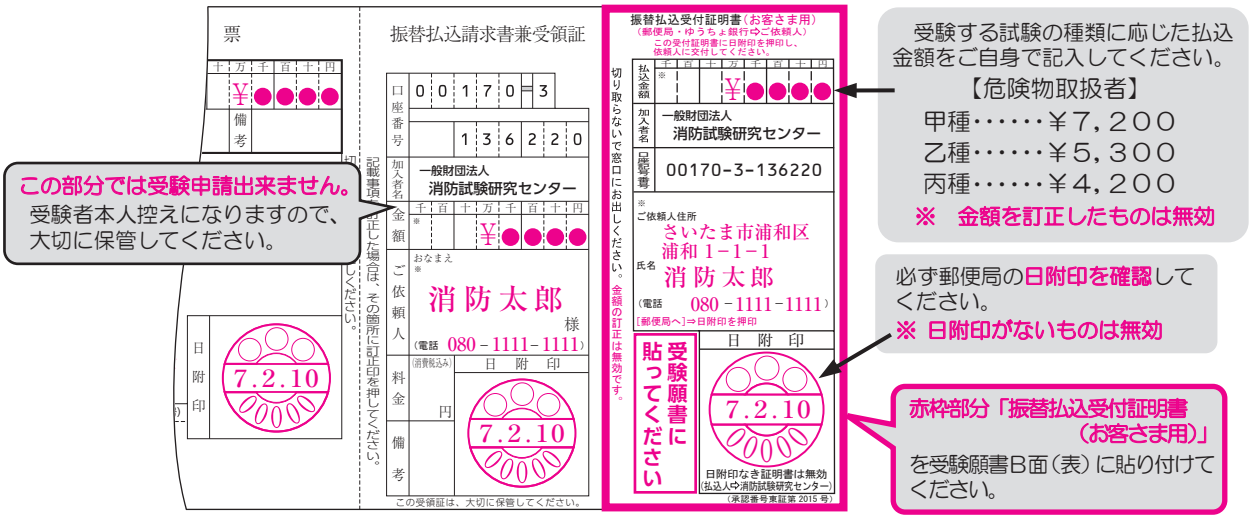
ア　払込取扱票（郵便局・ゆうちょ銀行用）での支払い方法

① 受験願書に同封の**「払込取扱票」**の金額欄に受験する試験の種類に応じた試験手数料をご記入のうえ、郵便局又はゆうちょ銀行の**窓口でお支払い**ください。

② 郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で受領した**赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」**を受験願書B面（表）の指定の欄に貼り付けてください。

※ 注意事項
- **ATM機では払込まない**でください。
- 本人控え用の「振替払込請求書兼受領証」が貼り付けられている場合の申請は無効です。
  上記の場合、改めて**赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」**を提出していただく必要があります。
- 払込取扱票の**赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」に日附印が押印されていないと受験申請できません。**
- **埼玉県支部窓口での払込みはできません。**

【払込取扱票】（必ず当センター指定の払込取扱票を使用してください。）



イ　２次元コード経由での支払い方法

① 願書の項目を全て記載のうえ、願書二枚目B面（表）左下に印刷されている２次元コードから支払いサイトに入り、画面遷移に従ってお支払いください。

② **電子決済後、決済完了メール文中に記載してある１８桁の「決済完了番号」を必ず受験願書B面（表）左下に記入してください。**（P9参照）

※ 願書に印刷されている２次元コードは願書ごとに異なります。２次元コード経由で決済エラー等のため支払いできなかった場合は、多重決済防止のため同じ２次元コードを利用することができません。
上記の場合、現在の願書を破棄し新しい願書にて決済するか、引き続き現在の願書を使用したい場合、上記ア記載の郵便取扱振込票での支払い方法により支払いをしてください。

⑸ 受験願書等の提出方法

受験願書は埼玉県支部へ**持参**又は**郵送（特定記録郵便扱い。なお、特定記録郵便の受領証は受験票が届くまで保管してください。）**で提出してください。受理された受験申請書類はお返しできません。
郵送する場合は**受付締切日の消印有効**です。

受　付　時　間	所　在　地
9時00分～17時00分 （土日祝日、年末年始を除く。）	〒330-0062　埼玉県さいたま市浦和区仲町2-13-8　ほまれ会館2階 （一財）消防試験研究センター　埼玉県支部

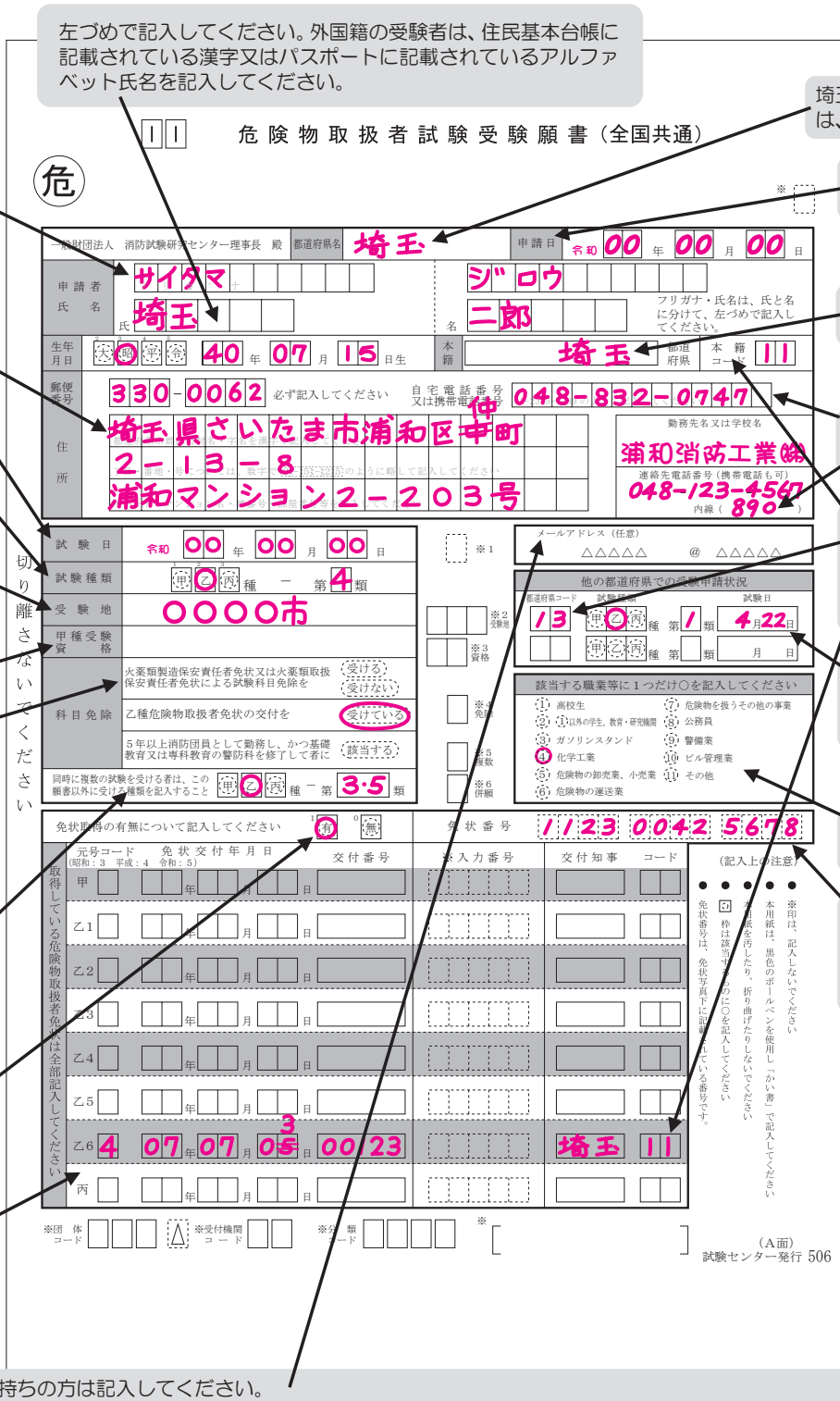
⑹ その他

受付期間外に提出された受験願書及び記載事項等に不備のある受験願書は受理できません。この場合、提出された受験申請書類を返却します（返却費用は本人負担になります。）。

受験願書Ａ面（１枚目）の記入例

注　意　事　項

1　受験願書は必ず**受験者本人**が記入してください。
2　Ｂ面は切り離さず、２枚重ねて丁寧に記入してください。
3　書き損じた場合は、横２本線を引いて、その上方に正しく書いてください。
4　**住所は受験票の送付先**を記入してください。



左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。

埼玉県支部に受験を申請する方は、『埼玉』と記入してください

濁点、半濁点は１マス使用してください。

申請する日を記入してください。

マスが不足する場合は、郵便（受験票）が届く程度に適宜省略してください。

外国人の方は、『外国籍』と記入してください。

試験日を記入してください。

日中連絡が取れる電話番号を記入してください。

試験種類を記入してください。

受験願書Ｂ面（裏）の「都道府県等コード表」を参照し、それぞれコードを記入してください。

試験案内の受験地を記入してください。

甲種を受験される方は「願書資格欄の記入略称」（P.3　7⑵参照）を記入してください。

３ヶ月以内に他の道府県で受験した場合は記入してください。

火薬類免状を取得している方で「受ける」に○を付けた場合は、火薬類免状のコピーを受験願書Ｂ面（裏）の「各種証明書等貼付欄」にのり付けしてください（乙種第１、５類の受験者のみ）。

主となるものに○を付けてください。

２～３種類の受験者は、それぞれの受験願書に他の種類を記入してください（同時に複数の試験を受験する方のみ該当）。

危険物取扱者免状を取得している方は、免状番号（免状写真下の番号）を必ず記入してください。

危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。

危険物取扱者免状を取得している方はすべて記入してください。

メールアドレスをお持ちの方は記入してください。
なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、埼玉県支部からのメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定を行ってください。
（ドメイン名　shoubo-shiken.or.jp）。

受験願書Ｂ面（２枚目）の記入例

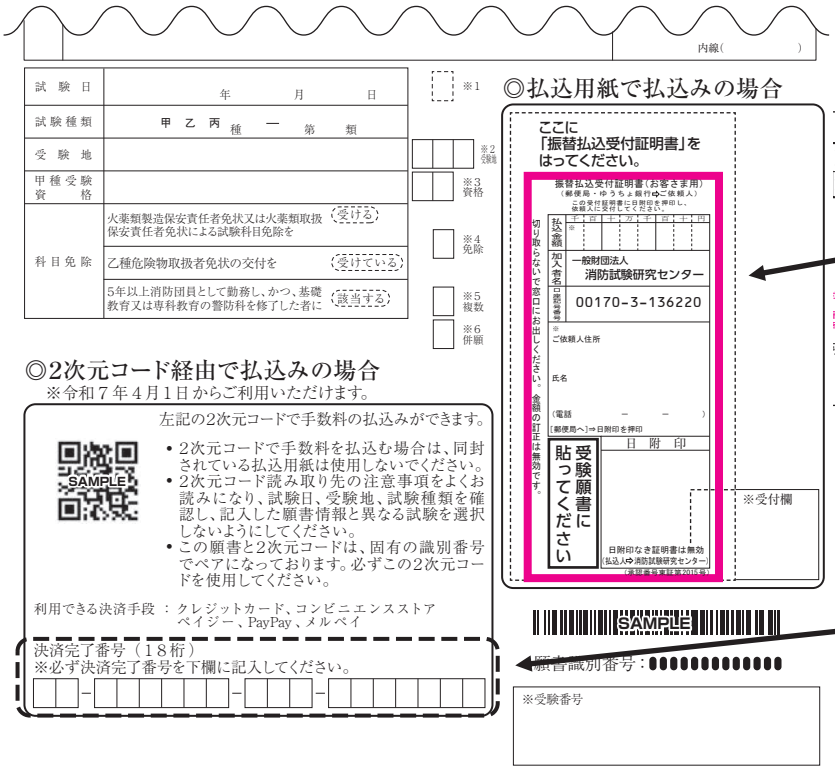
注　意　事　項

１　払込取扱票（郵便局・ゆうちょ銀行用）で試験手数料払込みの際に窓口で受領した**「振替払込受付証明書（お客さま用）」**を受験願書Ｂ面（表）の指定の欄に貼り付けてください。**（ATM機での払込みは不可）**また、本人控え用の**「振替払込請求書兼受領証」では、受験申請できません。**

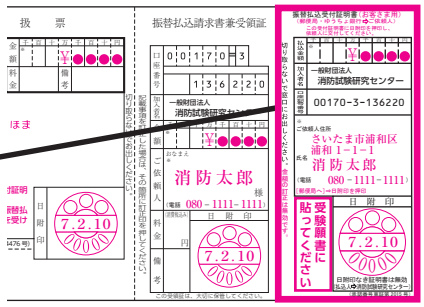
２　「振替払込受付証明書（お客さま用）」を紛失、汚損等により受験願書に貼り付けられない場合、当センターでは責任を負えません。その場合は、再度払込みのうえ、新たな受験願書に貼り付けてください。

３　２次元コード経由でお支払いの場合、電子決済後、決済完了メール文中にある１８桁の「決済完了番号」を記入してください。

受験願書Ｂ面（表）



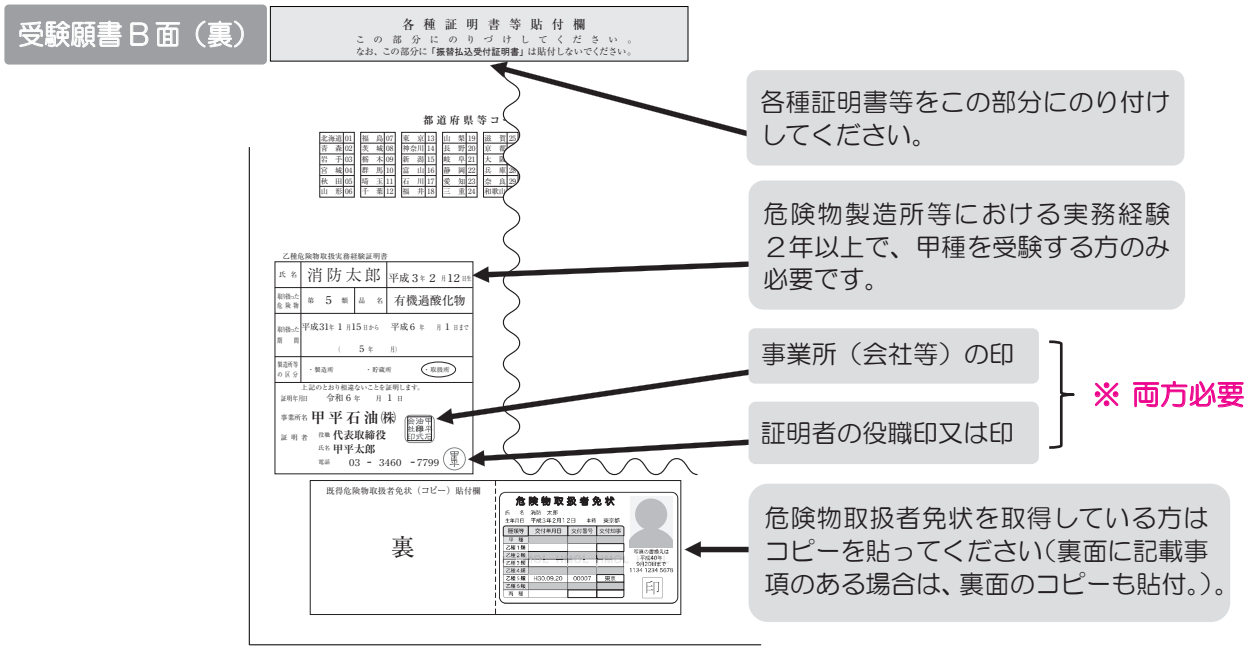
【払込取扱票でお支払いの場合】
（郵便局・ゆうちょ銀行）
振込取扱票の赤枠部分「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼り付けてください。



必ず郵便局の**日附印**を確認してください。
※　日附印がないものは無効

【２次元コード経由でお支払いの場合】
電子決済後、決済完了メール文中にある１８桁の「決済完了番号」を記入してください。

受験願書Ｂ面（裏）



各種証明書等をこの部分にのり付けしてください。

危険物製造所等における実務経験２年以上で、甲種を受験する方のみ必要です。

事業所（会社等）の印
証明者の役職印又は印
※ 両方必要

危険物取扱者免状を取得している方はコピーを貼ってください（裏面に記載事項のある場合は、裏面のコピーも貼付。）。

13　受験票及び写真について

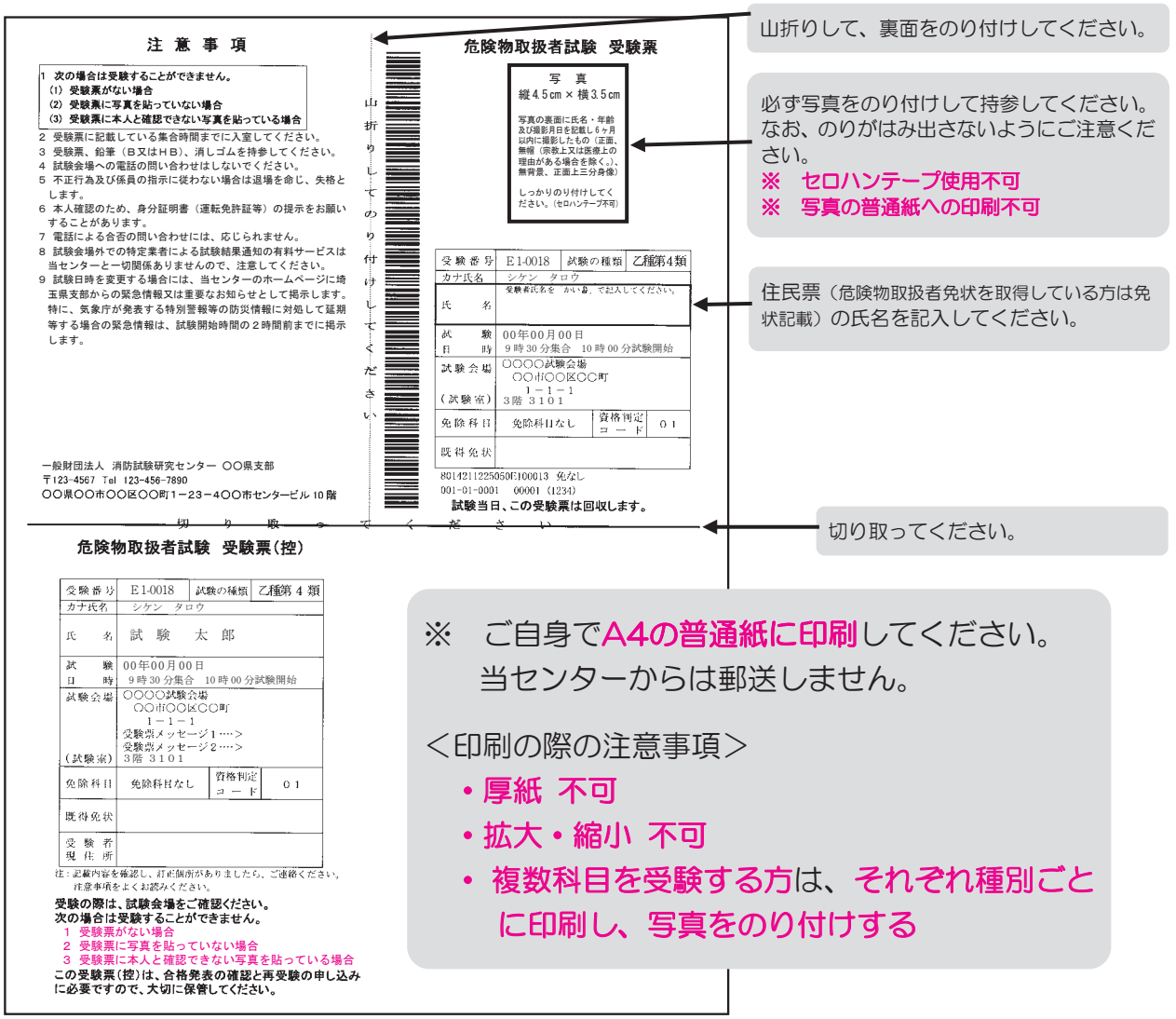
⑴　受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ずご確認ください。
なお、**指定された試験開始時間の変更はできません。**

⑵　受験票（控）は、合格発表の確認に必要です。また、甲種を再受験される方は、資格の証明に代えることができますので、大切に保管してください。

受験票の送付（印刷）	電子申請	試験日の概ね１週間前までに「受験票ダウンロード可能メール」を送信します。このメールには**受験票は添付していませんので、受験票は当センターホームページの電子申請トップページからダウンロードし、印刷してください。当センターから受験票は郵送しません。**何らかの理由により当センターからのメールが届かない場合でも、受験票のダウンロードは可能です。受験票をダウンロードする際に入力する「電子申請受付番号」が不明な場合は、「電子申請状況確認」画面で確認してください。 上記以外のお問い合わせは電子申請室（0570-07-1000）へご連絡ください（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）。
	書面申請	試験日の概ね1週間前までに発送します。**（複数受験者は受験する種類それぞれに届きます。）** **受験票が届かない場合**又は受験票を**紛失した場合**は、試験日の前日（土日祝日、年末年始を除く9時00分～17時00分）までに**埼玉県支部（048-832-0747）へ連絡**してください。

【電子申請者用の受験票】

（試験日の概ね１週間前までに「受験票ダウンロード可能メール」を送信します。）



山折りして、裏面をのり付けしてください。

必ず写真をのり付けして持参してください。なお、のりがはみ出さないようにご注意ください。
※　セロハンテープ使用不可
※　写真の普通紙への印刷不可

住民票（危険物取扱者免状を取得している方は免状記載）の氏名を記入してください。

切り取ってください。

※　ご自身で**A4の普通紙に印刷**してください。
当センターからは郵送しません。

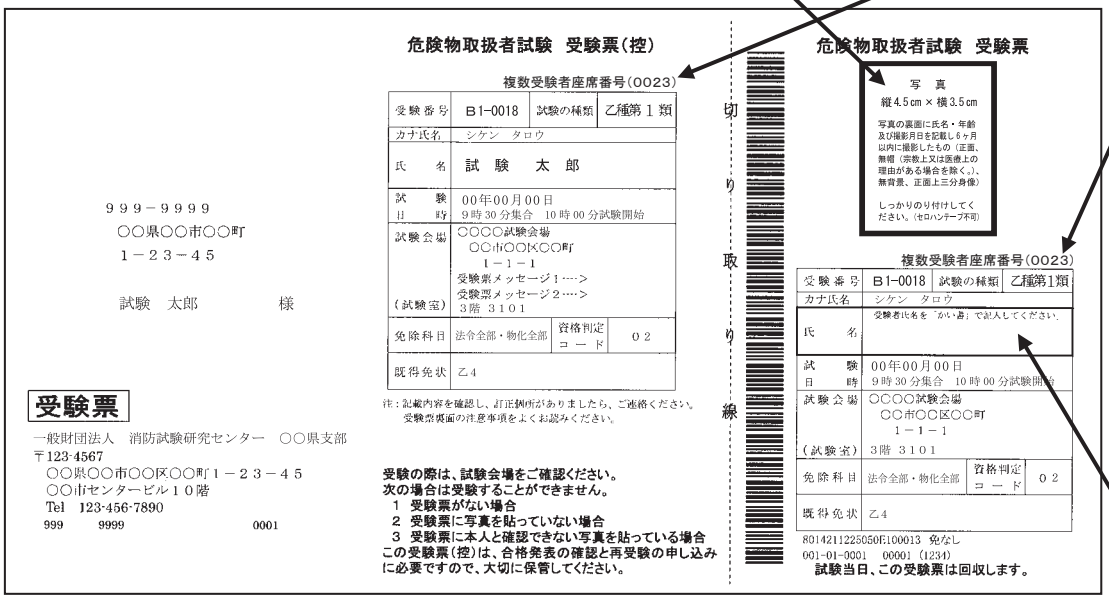
＜印刷の際の注意事項＞
- **厚紙　不可**
- **拡大・縮小　不可**
- **複数科目を受験する方**は、**それぞれ種別ごとに印刷し、写真をのり付けする**

※　試験科目の免除を受けずに乙種第４類を受験する場合の受験票例

【書面申請者用の受験票】（試験日の概ね１週間前までに発送します。）

必ず写真をのり付けして持参してください。なお、のりがはみ出さないようにご注意ください。
※　セロハンテープ使用不可

複数受験者の方は、こちらに座席番号が印字されます（乙種第１・２・３・５・６類の試験日に２又は３種類の試験を同時に受験する方のみ該当）。



危険物取扱者試験　受験票（控）

複数受験者座席番号（0023）

受験番号	B1−0018	試験の種類	乙種第１類
カナ氏名	シケン　タロウ		
氏　名	試　験　太　郎		
試験日時	00年00月00日 9時30分集合　10時00分試験開始		
試験会場 （試験室）	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 １−１−１ 受験票メッセージ1····> 受験票メッセージ2····> 3階　３１０１		
免除科目	法令全部・物化全部	資格判定コード	０２
既得免状	乙４		

注：記載内容を確認し、訂正個所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。
１　受験票がない場合
２　受験票に写真を貼っていない場合
３　受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

９９９−９９９９
○○県○○市○○町
１−２３−４５

試験　太郎　　様

受験票

一般財団法人　消防試験研究センター　○○県支部
〒123-4567
○○県○○市○○区○○町１−２３−４５
○○市センタービル１０階
Tel　123-456-7890
999　9999　0001

切り取り線

危険物取扱者試験　受験票

写　真
縦4.5cm×横3.5cm
写真の裏面に氏名・年齢及び撮影月日を記載し6ヶ月以内に撮影したもの（正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、正面上三分身像）
しっかりのり付けしてください。（セロハンテープ不可）

複数受験者座席番号（0023）

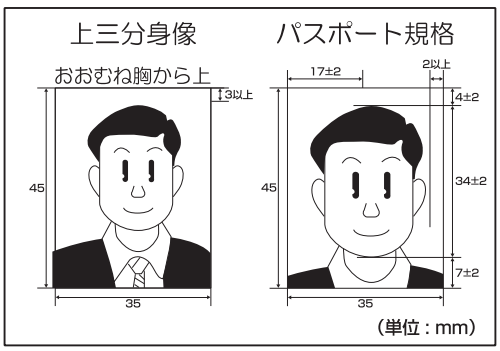
受験番号	B1−0018	試験の種類	乙種第1類
カナ氏名	シケン　タロウ		
氏　名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。		
試験日時	00年00月00日 9時30分集合　10時00分試験開始		
試験会場 （試験室）	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 １−１−１ 3階　３１０１		
免除科目	法令全部・物化全部	資格判定コード	０２
既得免状	乙４		

80142112250S0E100013　免なし
001-01-0001　00001（1234）
試験当日、この受験票は回収します。

住民票の氏名を記入してください。
（危険物取扱者免状を取得している方は免状に記載の氏名）

【受験票にのり付けする写真】（免状の写真に使用します。）

- 受験時の本人確認及び合格後の免状作成時に使用しますので、**下記の条件を満たす写真**を反らないようにしっかりと受験票にのり付けしてください（**セロハンテープ不可**）。
- 下記の【不適切写真例】のほか、免状用の写真として不適切である場合は、合格後に**写真の再提出が必要になります。**



【写真の条件】
- 大きさ　縦 4.5cm×横 3.5cm
- 正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景の上三分身像又はパスポート規格
- 枠なし、鮮明なもの（カラー・白黒どちらも可）
- 裏面に氏名、年齢及び撮影年月日を記入
- 受験日前６ヶ月以内に撮影したもの
- デジタル写真は**写真専用紙**に印刷

【不適切写真例】
◎表面にキズのある写真
◎写真のコピー
◎画像処理（加工修正）を施した写真
◎メガネフレームやメガネレンズの照明による反射、頭髪が目にかかっている写真等
◎イヤホン、サングラスやマスクを着用した写真
◎普通紙に印刷したもの
◎背景と頭髪の色が同系色の写真

14　試験当日

⑴　持ち物

ア　受験票（**縦4.5 cm × 横3.5cmの写真**をのり付けしたもの）

※　複数受験者は受験する種類ごとに合計2又は3通の受験票が必要です。

イ　鉛筆又はシャープペンシル（いずれもHB又はB）

ウ　プラスチック消しゴム

※　電卓・定規類・計算機等の使用はできません。

⑵　試験会場と集合時間

受験票に記載されている試験日、集合時間、試験開始時間、試験会場等を必ずご確認のうえ、**集合時間までに着席**してください。試験開始前に受験上の留意事項等を説明します。

⑶　試験の方法

種　類	方　法
甲種及び乙種	5肢択一式（マークシート方式）
丙　種	4肢択一式（マークシート方式）

⑷　その他

ア　次の場合は受験できません。

①　受験票がない場合

②　受験票に貼付する写真をお持ちでない場合

③　本人と確認できない写真（マスク、サングラスの着用等）を貼っている場合

イ　鉛筆又はシャープペンシル以外の筆記具（ボールペン等）を使用して解答カードにマークした場合には、機械が読み取れず、0点となることがありますので、使用しないでください。

ウ　参考書、法令集等の参照は一切できません。

エ　携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。また、これらの電子機器類を時計として使用することはできません。

オ　不正行為は失格とします。また、試験監督員等の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とすることがあります。

カ　**試験会場外での業者による試験講習案内等は当センターとは一切関係ありません。**

15　合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験はいずれも、**試験科目ごとの正答率がそれぞれ60%以上**必要です（試験科目の免除を受けた受験者については、その科目を除く。）。

なお、乙種第１類又は第５類の受験者で、火薬類免状による**試験科目の一部免除を受けた場合は、免除されていない問題数で上記の基準を満たした方が合格**となります。

【例示】（性消の場合）

	問題数	備　　考
甲種受験者の場合（すべて免除科目なし）	20 問	正答　12　問で正答率　60%達成
免除科目なしの乙種受験者と乙種既得免状あり受験者の場合	10 問	正答　6　問で正答率　60%達成
火薬類免状による試験科目の一部免除を受ける場合	5 問	正答　3　問で正答率　60%達成

16　合格発表

試験結果は下表の3通りの方法で発表します。

発　表　方　法	備　　考
ほまれ会館（埼玉県支部）入口	合格発表日に合格者の受験番号を公示します。
ホームページ	原則として合格発表日の正午から、合格者の受験番号を（一財）消防試験研究センターホームページに掲載します。
試験結果通知書	**受験者全員に郵送**します。 合格発表から７日が過ぎても届かない場合は、お問い合わせください。 埼玉県支部　048−832−0747

17　合格後の免状交付申請の手続き

合格者には試験結果通知書と合わせて免状交付申請書が後日郵送されます。通知書に記載された免状交付申請期間内に次の書類を埼玉県支部へ提出（郵送又は直接窓口）し、免状の交付申請をしてください。
なお、免状の交付には1種類ごとに免状交付申請手数料がかかります。

（1）提出する書類等

ア　試験結果通知書及び免状交付申請書

記載事項に誤りがないか確認し、申請者氏名等を記入してください。
また、２連の「**試験結果通知書**」・「**免状交付申請書**」は、**切り離さないで提出してください。**

イ　免状交付手数料　２，９００円（非課税）

下記のとおりクレジットカードやペイジー等による電子納付での支払をしてください。
また、電子納付が困難な場合は納付書による支払いも可能です。

①　電子納付による方法

下記２次元コード又はアドレスから**埼玉県電子申請・届出サービス**に入り支払い手続きをし、埼玉県から送信される「手数料支払方法の御案内【埼玉県電子申請】」**メールにある12桁の整理番号を申請書裏面の手数料欄に記入してください。**（２次元コード等は免状交付申請書にも記載しています。）

- 利用可能な支払方法等：クレジットカード（Visa、Mastercard、JCB、AmericanExpress、DinersClub）、コード決済（PayPay、auPAY、d払い）、ペイジー（ＡＴＭ支払い又はインターネットバンキング）
- アドレス
  https://www.pref.saitama.lg.jp/a0404/menjotesuuryo.html
- ２次元コード

②　納付書による方法

電子納付（クレジットカード又はペイジー等）による支払が困難な場合は、納付書兼領収書による支払も可能です。

- 配布場所：県内の各消防本部、埼玉県消防課及び消防試験研究センター埼玉県支部
- 納付書兼領収書（3枚複写式）に必要事項を記載し、お近くの金融機関窓口（郵便局、コンビニを除く）で支払いを行い、**本人控えの納付書兼領収書（コピー可）を申請書裏面にのりづけしてください。（受験願書用の払込取扱票（郵便局・ゆうちょ銀行用）は使えませんのでご注意ください。）**

ウ　既得免状　　すでに危険物取扱者免状を持っている方は必ず申請時に提出してください。

エ　免状送付用封筒　　（３）①で郵送受取りを希望した場合（P.14　免状送付用封筒作成例参照）

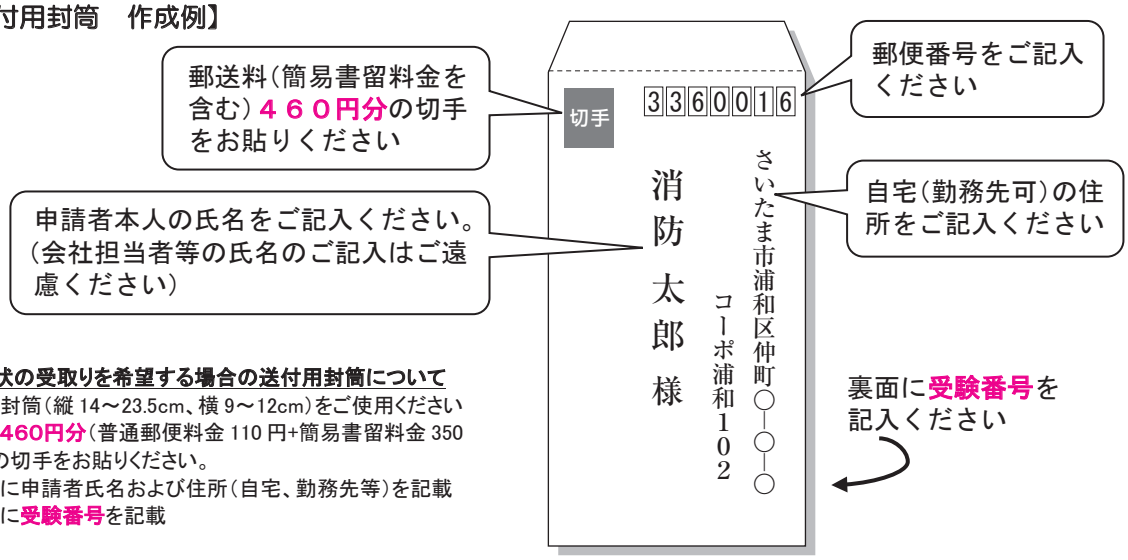
（２）免状交付予定日…… 結果通知書に初回免状交付申請締切と初回交付予定日を記載します。
初回締切以降に到着した申請は遅れて順次交付されます。

（３）免状の受取り方

① 郵送受取り…… 希望された方には交付予定日に郵送いたします。
免状送付用封筒（P.14　作成例参照）を申請の際に提出してください。

② 窓口での受取 …… 上記アの免状交付申請書の余白に**「窓口受取」**と記入してください。
（交付予定日以降に埼玉県支部で受領してください。）
（交付には３週間程度日数を要します。必要に応じてお問合せください。）

【免状送付用封筒　作成例】



郵送で免状の受取りを希望する場合の送付用封筒について

① 定型封筒（縦 14～23.5cm、横 9～12cm）をご使用ください
② 切手**460円分**（普通郵便料金 110 円+簡易書留料金 350 円）の切手をお貼りください。
③ 宛名に申請者氏名および住所（自宅、勤務先等）を記載
④ 裏面に**受験番号**を記載

１８　個人情報の取り扱いについて

（一財）消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

⑴　当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

ア　個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名・学校名、職業、顔写真、メールアドレス等

イ　利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席への氏名表示、受験票への表示、結果通知書及び免状交付申請書、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

⑵　当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

１９　その他の注意事項

⑴　書面申請は受付締切日以降、電子申請は申請の受付完了以降は、「試験日」・「試験の種類」等、**申請した内容の変更及び取消し**はできません。
⑵　試験当日の配慮措置（車椅子の使用等）を希望される場合は、事前にご連絡ください。
⑶　試験会場によっては**全面禁煙**です。
⑷　試験会場ではごみ箱の使用はできませんので、**ごみは各自でお持ち帰り**ください。
⑸　試験会場は、原則、車、バイク厳禁です。**公共交通機関をご利用**ください。
⑹　試験会場周辺において、騒音の発生する行為等は近隣のご迷惑となりますので、おやめください。また、試験会場周辺の交通ルールをお守りください。
⑺　台風その他の事故等により、会場や日程の変更等、緊急のお知らせがある場合は（一財）消防試験研究センターホームページに掲示します。
⑻　当センターは試験実施機関であり、受験準備のための講習や参考書等の販売は一切行っていません。
⑼　試験問題集及び解答カードを持ち帰ることはできません。
⑽　試験室内は写真撮影禁止です。
⑾　試験会場では感染症対策にご協力をお願いいたします。また、会場内での会話はお控えください。
⑿　試験会場へのお問合せは固くお断りします。ただし、試験日当日の緊急なご連絡は、受験票（控）に記載してある電話番号に電話してください。なお、この電話は、試験日当日午前８時以降に通話可能です。

別表１

化学に関する学科等の例

１　名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
（ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）人類文化学科等）

２　次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表２

化学の授業科目例

名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
（ただし、明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。（例）進化学等）

２　次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロニクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

化学の授業科目の名称							
キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性	サ	材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理	セ	生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	ト	毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料					ニ	ニューセラミック学
コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物学 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論	ネ	燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学
サ	細胞培養学 材料解析 材料開発工学 材料科学	ス	水質学			ノ	農薬学
		セ	製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学	ハ	バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パルプ学 パルプ工学 半導体工学 半導体材料 半導体デバイス工学 反応工学 反応性物質材料 反応操作 反応速度論
				タ	耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学		
				チ	超高温材料 調剤学	ヒ	非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学
				テ	鉄鋼材料学 鉄鋼表面処理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学 電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学	フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物工学概論
				ト	同位体地球科学		

化学の授業科目の名称							
フ	物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミックス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論	フ	分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	モ	木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化工学 木質資源工学	ユ	有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体物有機材料電子物性
		ヘ	平衡論 平衡・反応論	ヤ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	ヨ	窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学			リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学
		マ	膜機能工学 マテリアル工学				
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論				
		ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学	ユ	有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学	レ	レオロジー
		メ	免疫薬剤学				
		モ	木材化工学				

書式例１　専修学校用受験資格証明書

○○第　　号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

○○　年　　月　　日　　入学　　○○科　　○○コース
○○　年　　月　　日　　修了

氏名　○　○　○　○
年　　月　　日　　生

学校教育法第124条の２に定める専修学校として許可を受けた日及び文書番号 ○○　年　　月　　日　　号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年数	２年
課程の修了に必要な総授業時数	１７００時間

上記のとおり証明する。

平成　　年　　月　　日

（専修学校の所在地）

○○専門学校　学校長　氏名　○○　○○　印

《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例２　単位修得証明書

○○第　　号

単位修得証明書

○○　年　　月　　日　　入学　　○○部　　○○科
○○　年　　月　　日　　修了

氏名　○　○　○　○
年　　月　　日　　生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

平成　　年　　月　　日

○○大学　学長　氏名　○○　○○　印

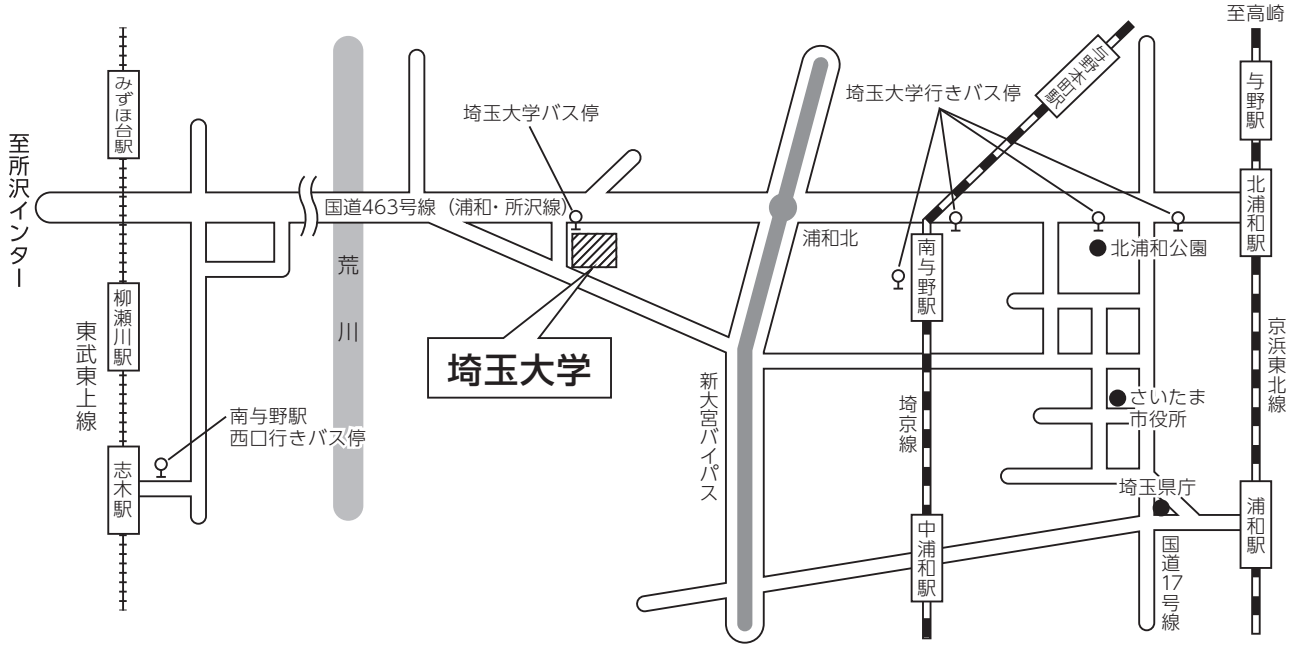
《注》証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

試　験　会　場　案　内　図

過去に実施している主な会場の案内図になります。令和7年度に実施する会場はホームページ等でご確認ください。
埼玉県支部「試験会場」に掲載予定です。

◎埼玉大学（さいたま市桜区下大久保255）

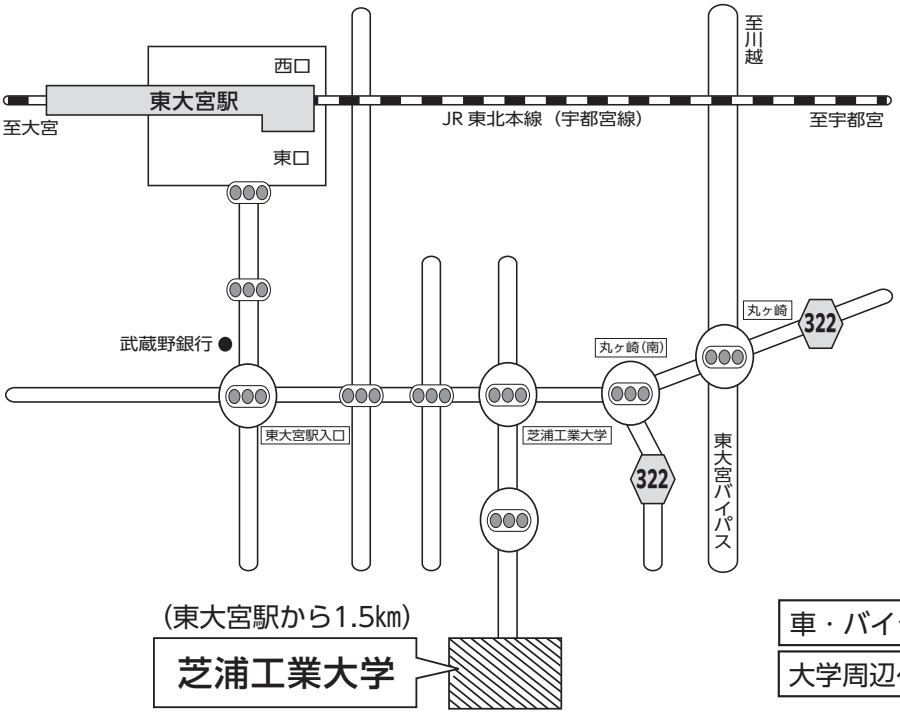
●ＪＲ京浜東北線「北浦和駅」西口よりバス約15分「埼玉大学」行（終点下車）



車・バイクでの来場は厳禁　大学周辺への無断駐車厳禁

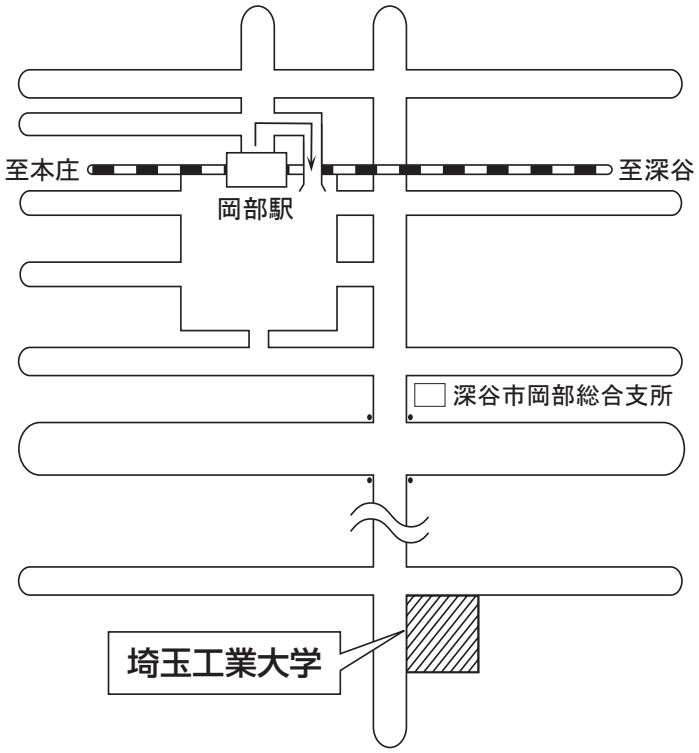
◎芝浦工業大学（さいたま市見沼区深作307）

●ＪＲ宇都宮線「東大宮駅」東口下車徒歩約20分



車・バイクでの来場は厳禁
大学周辺への無断駐車厳禁

◎埼玉工業大学（深谷市普済寺1690）　●ＪＲ高崎線「岡部駅」下車徒歩15分

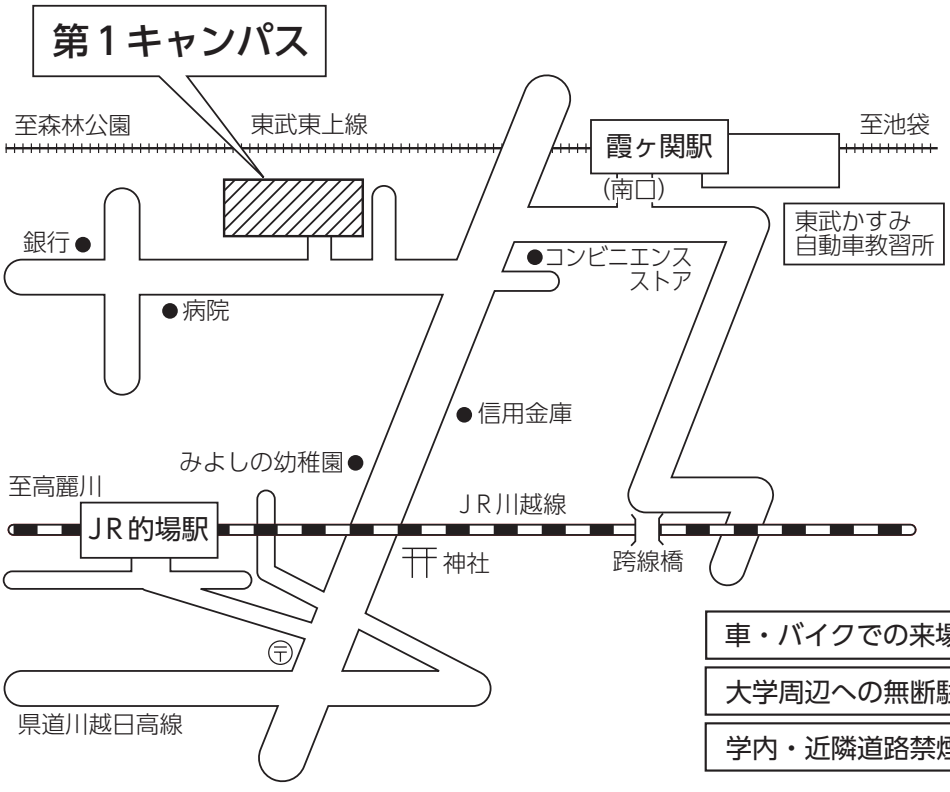


（大学内、大学周辺及び駅周辺にコンビニ等はありません。）

大学駐車場利用可、但し台数に限りあり　学内禁煙

◎ 東京国際大学第１キャンパス（川越市的場北1-13-1）

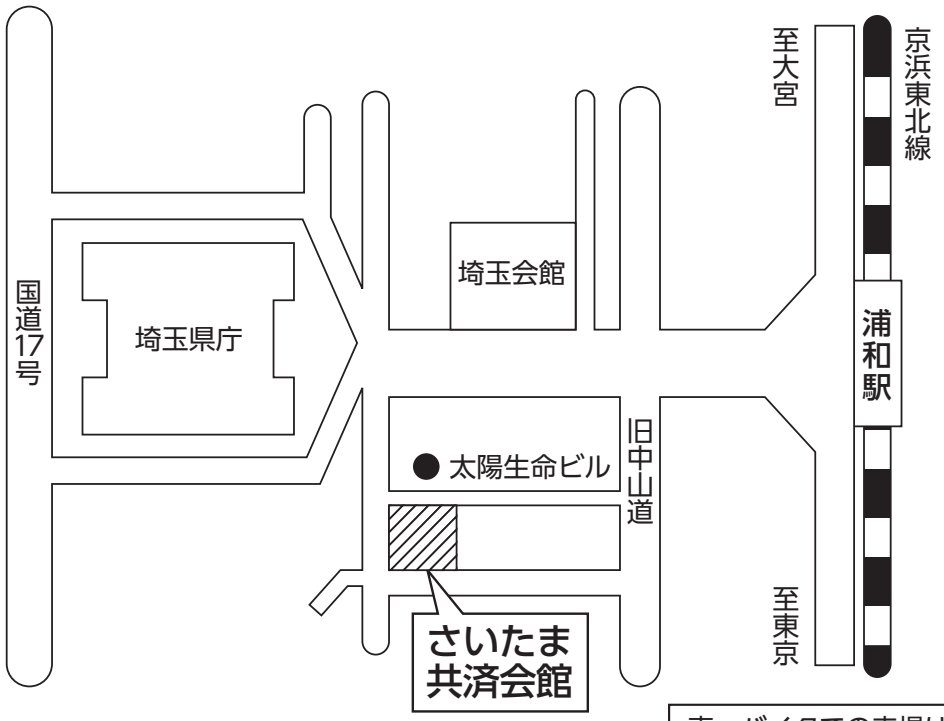
●東武東上線「霞ヶ関駅」南口下車徒歩５分
●ＪＲ川越線「的場駅」下車徒歩 13 分



車・バイクでの来場は厳禁
大学周辺への無断駐車厳禁
学内・近隣道路禁煙

◎さいたま共済会館（さいたま市浦和区岸町7-5-14）

●ＪＲ京浜東北線「浦和駅」下車徒歩約10分



車・バイクでの来場は厳禁

会館周辺への無断駐車厳禁

◎ JA共済埼玉ビル（さいたま市大宮区土手町１-２）

●ＪＲ「大宮駅」から徒歩約13分　●東武野田線「北大宮駅」から徒歩約５分

車・バイクでの来場は厳禁

会館周辺への無断駐車厳禁

★免状の書換えを行ってください

○ 免状記載事項（氏名、本籍地等）に変更が生じたときは、遅滞なく書換えを行ってください。

○ 免状の写真は、交付日から10年以内に書換えが必要です。

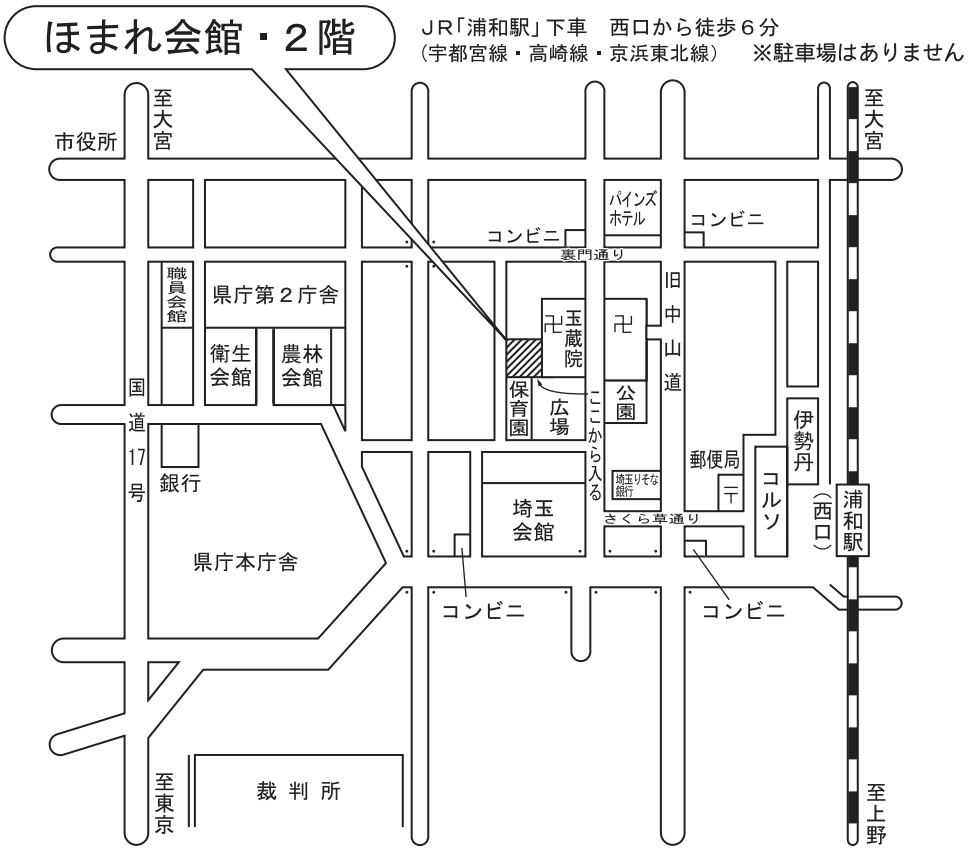
○ 免状を亡失、汚損等したときは、免状を交付した都道府県で再交付を受けることができます。

➡ お問い合わせは　埼玉県支部（048−832−0747）まで

★危険物取扱者保安講習会を受講してください

○ 危険物取扱者免状を所持し、現に危険物施設で危険物の取扱作業に従事している方は、危険物取扱者保安講習を受講しなければなりません。

➡ 詳しくは　公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会（048−834−7784）まで



送付用あて先として活用できます。

〒330-0062
さいたま市浦和区仲町２−１３−８
ほまれ会館２階
（一財）消防試験研究センター 埼玉県支部

TEL：０４８-８３２-０７４７
FAX：０４８-８２５-０７４８